

まちづくりに 関する計画を 改定・策定しました

市では、これからのまちづくりの方針を定める3つの計画を3月に改定・策定しました。今後、これらの計画に基づき、市民・事業者の皆さんと連携し、より良いまちとなるよう取組を進めていきます。

また、市民の皆さんが開催する集会・会合等に職員が出向き、各計画についてご説明させていただきます。ご希望の方はぜひ一度ご相談ください。

★都市計画課 ☎ 25-1136



本庄市都市計画マスタープラン

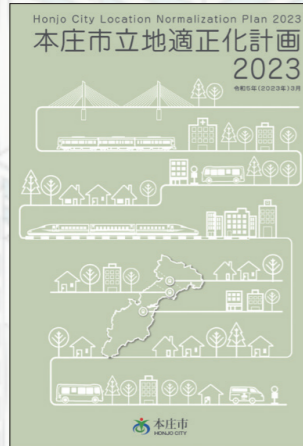
まちづくりに関する基本的な方針を市民の皆さんと共有するための計画です。分野ごと、地域ごとに方針等を定めています。

策定目的

人口減少・高齢化の進行や頻発化・激甚化する自然災害、先端技術の発展など、市を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、さまざまな課題に直面しています。こうした社会経済情勢の変化に迅速かつ柔軟に対応し、持続可能な都市であり続けるため、本計画により、10年後（令和15年）の将来都市像を市民・事業者・市で共有し、連携によるまちづくりを進めるために策定しました。



市HP



本庄市立地適正化計画

3つの駅周辺の拠点に居住や生活サービス機能の誘導を図る計画です。また、各拠点の防災性を高める取組を定めています。

策定目的

人口減少や高齢化社会に対応した持続可能な都市であり続けるため、居住機能や公共公益（行政・文化交流）・医療・福祉・子育て・商業等の都市機能の立地や、居住エリアの安全性を強化する防災指針、公共交通の維持・確保に関する包括的なマスタープランとして策定しました。



市HP



本庄市地域公共交通計画

将来にわたり公共交通を維持・確保するための計画です。課題解決のための目標や施策等を定めています。

策定目的

近年、人口減少・高齢化等の社会問題の進行や新型コロナウイルス感染症の影響により、外出回数の減少やリモートワークの普及等、生活環境が変化している中で、公共交通は利用者の減少や運転手等の担い手不足が大きな課題となっています。こうした背景や状況等を踏まえ、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保していくために策定しました。



市HP

これからの本庄市のまちづくり

発展創出ゾーン

現在整備が進められている国道17号本庄道路や関越自動車道本庄児玉インターチェンジ周辺において、新たに「産業団地」や「道の駅」等の設置を検討します。



田園・森林ゾーン

市街地を取り囲む田園・森林ゾーンでは、農業や豊かな田園環境・自然環境を守り、それらと調和した暮らしの維持を図ります。

人口減少・高齢化や大雨等の自然災害、税収の減少等、さまざまな社会的・財政的課題に直面する中でも、将来に渡って市民の皆さんの生活を守り続けることを目標とし、市内3つの駅周辺に店舗等の生活に必要な施設や人々の住まいを緩やかに集めるまちづくりを進めます。その周辺では、ゆとりある暮らしを守るとともに「発展創出ゾーン」において、市の将来を支える産業等の創出を進めます。

また、3つの拠点を路線バスやシャトルバス（はにぼんシャトル）で結ぶほか、デマンドバス（はにぼん号・もといずみ号）を運行することで、誰もが安心して市内全域を快適に移動できるまちを目指します。



凡例	
●	駅周辺拠点
⇄	拠点連携軸
⇄ (ネットワーク)	広域連携軸
—	自然環境軸
■	市街地ゾーン
■	田園ゾーン
■	森林ゾーン
●●●	発展創出ゾーン

3つの駅周辺拠点

本庄駅北口や児玉駅周辺での「まちなか再生」の取組や、本庄早稲田駅周辺での次代を見据えた取組により、人々の暮らしと公共施設・店舗・病院・子育て施設等の生活サービス施設が集まるエリアにします。



公共交通

市内公共交通には、3つの駅を中心として、路線バスやシャトルバスがあるほか、市内全域をカバーするデマンドバスや個別輸送を行うタクシーがあります。

これらを維持・確保するとともに、デマンドバスの利便性向上や、ICT等の先端技術の導入を検討します。